

食品安全委員会第599回会合議事録

1. 日時 平成28年3月15日（火） 14：00～14：11

2. 場所 大会議室

3. 議事

(1) 遺伝子組換え食品等専門調査会における審議結果について

- ・「HIS-No.2株を利用して生産されたL-ヒスチジン」に関する審議結果の報告と意見・情報の募集について

(2) 「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等（平成28年2月分）について

(3) その他

4. 出席者

(委員)

佐藤委員長、熊谷委員、石井委員、堀口委員、村田委員

(事務局)

姫田事務局長、東條事務局次長、小森総務課長、関野評価第一課長、
鋤柄評価第二課長、植木情報・勧告広報課長、池田評価情報分析官、
木下リスクコミュニケーション官、高崎評価調整官

5. 配付資料

資料1 遺伝子組換え食品等専門調査会における審議結果について<HIS-No.2株を
利用して生産されたL-ヒスチジン>

資料2 「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等（平成28年2月分）について

6. 議事内容

○佐藤委員長 ただ今から第599回「食品安全委員会」会合を開催いたします。

本日は5名の委員が出席です。

それでは、お手元にございます「食品安全委員会（第599回会合）議事次第」に従いまして、本日の議事を進めたいと思います。

まず、資料の確認を事務局からお願いいたします。

○小森総務課長 それでは、資料の確認をさせていただきます。本日の資料は2点ござい

ます。

資料1が「遺伝子組換え食品等専門調査会における審議結果について」。

資料2が「『食の安全ダイヤル』に寄せられた質問等（平成28年2月分）について」で
ございます。

不足の資料等ございませんでしょうか。

○佐藤委員長 よろしいですか。

続きまして、議事に入る前に「食品安全委員会における調査審議方法等について」に基
づく事務局における確認の結果を報告してください。

○小森総務課長 事務局において、平成27年7月1日の委員会資料1の確認書を確認しま
したところ、本日の議事について同委員会決定に規定する事項に該当する委員はいらっし
やいません。

○佐藤委員長 確認書の記載事項に変更はなく、ただ今の事務局からの報告のとおりでよ
ろしいでしょうか。

（「はい」と声あり）

○佐藤委員長 ありがとうございます。

(1) 遺伝子組換え食品等専門調査会における審議結果について

○佐藤委員長 それでは、議事に入ります。

「遺伝子組換え食品等専門調査会における審議結果について」です。

本件については、専門調査会から意見・情報の募集のための評価書（案）が提出されて
います。

まず、副担当の私から説明いたします。

お手元に資料1「HIS-No.2株を利用して生産されたL-ヒスチジン」についてを御用意く
ださい。2ページの要約をお願いいたします。

本添加物は、L-ヒスチジンの生産性を高めるために、*Escherichia coli* K-12株由来の突
然変異株を宿主として、*E. coli* K-12株由来のL-ヒスチジン生合成関与遺伝子の導入及び欠
失を行ったHIS-No.2株を利用して生産されたL-ヒスチジンです。

本添加物は、食品添加物公定書の含量規格を満たしております。また、従来から生産さ
れているL-ヒスチジンとの比較において、既存の非有効成分の含有量が安全上問題になる
程度にまでには増加しておらず、かつ、有害性が示唆される新たな非有効成分を含有して

いないと考えられました。

本添加物については、「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物のうち、アミノ酸等の最終産物が高度に精製された非タンパク質性添加物の安全性評価の考え方」に基づき、安全性が確認されたと判断いたしました。

追加があれば、事務局からお願いいたします。

○池田評価情報分析官 それでは、少々追加させていただきます。

概要が3ページでございますけれども、L-ヒスチジンの用途につきましては、栄養補給を目的とする食品、飲料及び調味料等ということでございます。

このものについては、食品添加物としての使用が認められておりまして、公定書に成分規格が収載されているということでございます。

食品健康影響評価でございますけれども、1.の方は、製造工程で高度に精製されているということと、先ほどの御説明のとおり、含量規格を満たすものであることが記載されております。

非有効成分に関して、2.に記載がございますけれども、タンパク質が検出限界未満でございまして、従来品に存在しない不純物は検出されなかったということでございます。また、従来品に存在する不純物は、従来品の含有量の実測値の最大値を上回らなかったということが記載されております。これらのことから、先ほど佐藤委員長から御説明のありましたような判断がされたということでございます。

本件につきましては、よろしければ、明日から4月14日までの30日間、意見・情報の募集を行いたいと考えております。

説明は以上でございます。

○佐藤委員長 ありがとうございます。

ただ今の説明の内容あるいは記載事項について、御意見、御質問がございましたら、お願いいたします。特にございませんか。

それでは、本件については、意見・情報の募集手続に入ることとし、得られた意見・情報の整理、回答案の作成及び評価書（案）への反映を遺伝子組換え食品等専門調査会に依頼することとしたいと思います。

(2) 「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等（平成28年2月分）について

○佐藤委員長 それでは、次の議事に移ります。

「『食の安全ダイヤル』に寄せられた質問等（平成28年2月分）について」です。

事務局から御報告をお願いいたします。

○木下リスクコミュニケーション官 それでは、お手元の資料2に基づきまして、御報告申し上げます。「『食の安全ダイヤル』に寄せられた質問等（平成28年2月分）について」でございます。

（1）に書いてありますが、総数は76件と平均的な量でございました。

（2）にその内訳を示してございますが、特に目立ったものはございませんでした。

裏面に行っていただきまして、本日、1件御紹介いたしたいのは、アクリルアミドについてでございます。この方は、普段から、がんを防ぐと聞いていて野菜をよく食べていました。今回、報道で、アクリルアミドが加熱した野菜に含まれていると聞いてびっくりしましたというお電話でございました。

回答でございますが、最初のパラグラフに、アクリルアミドについて、揚げるとか、焼くとか、あぶるなどで120℃以上の高温加熱によって、食品中のアスパラギンと還元糖が反応してできるものですということ。また、アクリルアミドは動物実験でDNAに損傷を起こすことでがんが発生する遺伝毒性発がん物質であること。また、当委員会では自ら評価として平成23年から加熱時に生じるアクリルアミドの健康影響評価を行ってきたことを申し上げます。

次のパラグラフで、がんについて述べてございます。最初に、ヒトを対象とした研究では一貫した傾向は見られていないということから、ヒトにおけるがんの健康影響は明確でないこと。しかし、動物実験でがんの発生の増加が認められる量と、平均的な日本人のアクリルアミドの摂取量を比較した時に、そのマージンが1,000分の1程度であったということから「公衆衛生上の観点から発がん性の懸念がないとは言えない」という判断が出たということをお知らせしました。

また、調理によってどのように低減できるかということをお知らせするパラグラフで述べてございます。揚げるとか、焼くとか、あぶるとかの加熱したものでできるのだけれども、煮るとか、蒸すとかした野菜にはアクリルアミドの生成はほとんど見られないこと。つまり、家庭での低減策としては、長時間、高温で揚げたり炒めたりしないこと。野菜については下茹でしたり、水にさらしたり、ジャガイモについては冷蔵庫に保存しないということでお知らせしております。

また、野菜についてはビタミンとかミネラルの重要な供給源でございますということ。また、本件をもって野菜を食べないというのは、食事のバランスの面からもよくありません。家庭での調理に気をつけていただいて、野菜を含めてバランスよくとっていただきたいと申し上げます。

以上でございます。

○佐藤委員長 ありがとうございます。

ただ今の報告の内容あるいは記載事項について、御質問等ございますでしょうか。

どうぞ、熊谷委員。

○熊谷委員 1点、アクリルアミドのところの四角の中の次の次のパラグラフの3行目に「確認されている量」とありますけれども、摂取量のことであれば摂取量と書いた方が分かりやすいと思うのですが、いかがでしょうか。

○佐藤委員長 これは経口摂取ですね。

○木下リスクコミュニケーション官 そうです。

○佐藤委員長 動物実験であっても経口摂取であると思うので、その方がいいのだろうなと。

○木下リスクコミュニケーション官 BMDL10のことをどう表すかですね。

○熊谷委員 この説明自体が短いところで言い切ろうとするので難しさはあって。

○木下リスクコミュニケーション官 比較の意味で、両方摂取量にした方が分かりやすいということかもしれません。

○熊谷委員 ストレートに摂取量の方が分かりやすいのではないかと思ったのです。

○佐藤委員長 これは動物実験の場合だと、もしかして強制投与の場合もあるかもしれないので、餌だったら多分、摂取量でいいと思うのですが、誤解のないように、もし投与であれば投与量にした方がいいと思うのですが、その辺を調べて書き加えてください。

○木下リスクコミュニケーション官 では、確認の上、書き加えます。

○佐藤委員長 それでよろしいですか、熊谷委員。

○熊谷委員 はい。

○佐藤委員長 他に何か御質問、御意見はございますか。よろしいですか。

(3) その他

○佐藤委員長 他に議事はありませんか。

○小森総務課長　　ございません。

○佐藤委員長　　これで本日の委員会の議事は全て終了いたしました。

　　次回の委員会会合については、来週3月22日火曜日14時から開催を予定しております。

　　なお、専門調査会の開催は予定されておられません。

　　以上をもちまして、第599回「食品安全委員会」会合を閉会いたします。

　　どうもありがとうございました。